

カード作りなど楽しむ

こそだてシップのXマス会

大船渡

大船渡市のNPO法 藤恰子理事長は14日、人こそだてシップ（伊 盛町のサン・リア内子



子どもの足形を使ったカード作りを楽しむ参加者（電子新聞に別写真あり）

育て支援センター「すくすくルーム」でクリスマス会を開いた。市内の親子17組が参加し、クリスマスカード作りや歌の遊びなどで団らんを楽しんだ。

同ルームでは毎月、母子相談や妊婦相談などを受け付ける「ママサロン」を開設。クリスマス会は同サロンの活動の一環で、同市の市民活動支援事業補助金を活用した。

この日は、1歳未満児と母親が参加した。午前中は、子どもの足形を使ったクリスマスカード作りを実施。緑色の特殊な塗料でとった子どもの足形を画用紙に貼り、星形の色紙などで装飾して作品に仕上げた。

午後は、同ルーム隣のヤマハ音楽教室が協力。エレクトーン（電子オルガン）の伴奏に合わせてクリスマスソングを歌うなど、明るい曲調に親子が笑顔を広げた。

伊藤理事長は「生まれて初めてのクリスマス会という子もいた。

家族のいい思い出になつていれば」と願っていた。同法人は18日（火）にも、1歳児から未就学児を対象にしたクリスマス行事を同ルームで行う。